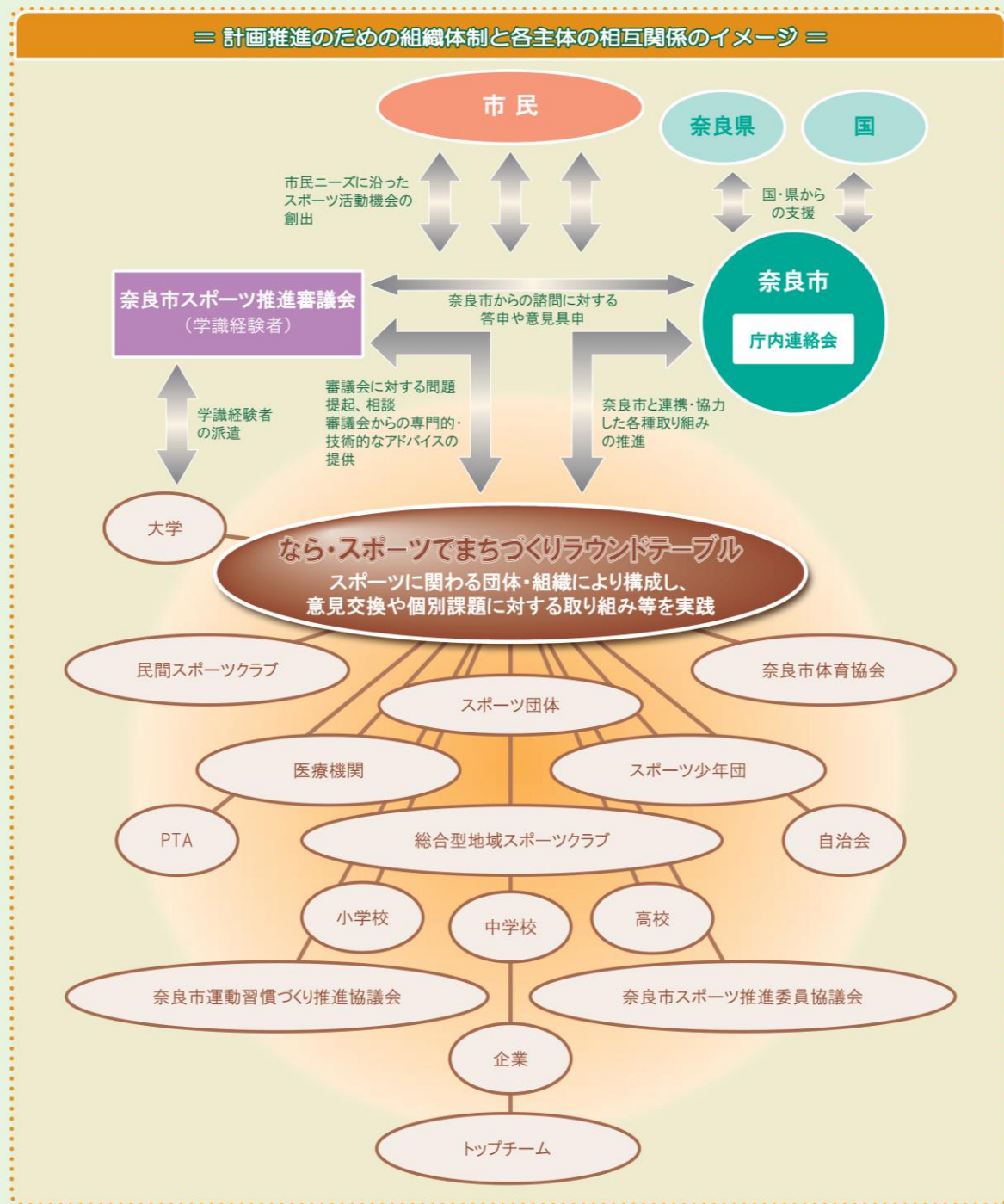


計画推進のための体制

- ▶ 本計画に掲げたスポーツ推進の目標、基本方針を実現するためには、行政のみならず、市民、大学・医療機関、スポーツ団体、民間企業など多様な主体の協働が必要となります。
- ▶ 今後は、これらの関係機関や団体が役割分担のもと、協働・連携を進めていくとともに、ネットワークの形成に努め、奈良市のスポーツを推進していきます。
- ▶ 各主体の役割を前提として、本計画を推進していくために、以下のような組織体制を整備します。



奈良市スポーツ推進計画

～なら・スポーツでまちづくり・プラン2013～

概要版

2018年4月改訂

奈良市のスポーツ推進の中長期的な目標と取り組むべき施策などを定めるため、平成25年度に奈良市スポーツ推進計画を策定しました。計画後に決定した東京オリンピックの開催など、スポーツを取り巻く環境の変化を計画に反映するため見直しを行い、改訂版を策定しました。

奈良市



■ ■ スポーツ推進計画の基本理念と基本方針、スポーツ推進に向けた施策

◆ 奈良市では、スポーツ推進が競技力の向上、体力・健康づくり、生きがいつくりのみならず、仲間づくりを通じた地域コミュニティの形成、さらにはまちづくりへとつながる重要な政策分野であると認識し、次のような基本理念のもとにスポーツを推進します。

基本理念： スポーツでまちづくり

まちがスポーツを支え、スポーツが人を育み、まちの活力と魅力を高めるといった、スポーツとまちづくりの良い循環を構築します。

基本方針1 市民のスポーツ活動の推進

誰でも、いつでも、どこでも、ライフステージ、運動ニーズ、運動能力・技術に合わせてスポーツを楽しめる環境を整えます。

健康スポーツ

健康づくり、体力づくりのために、子どもの時からスポーツに親しみ、大人になっても運動を継続できる環境を整えます。

スポーツ好きの子どもを育成するために 課題把握

- 子どもの基礎体力向上のため、子ども達が集まって自由に遊べる環境を整えます
- 多様なスポーツを体験でき、継続的にスポーツを楽しめる環境を整えます
- 学校、地域スポーツクラブ、競技団体が相互に連携・協力して、子ども達のスポーツ活動を支えられる環境を整えます

子育て世代・働き盛り世代がスポーツを楽しむ、運動習慣を持つために

- 余った時間をスポーツに活用できる環境を整えます
- 身近で、日常的にスポーツができる環境を整えます
- 子どもを連れてスポーツができる環境を整えます

アダプテッド・スポーツ

高齢者、障がい者を始め全ての人々が、自分の運動能力や運動技能に合わせて、気軽に、そして継続的にスポーツを楽しめる環境を整えます。

高齢者がいつまでもスポーツを楽しむために

- 年齢、運動技能に応じて、生涯を通してスポーツを楽しめる環境を整えます
- スポーツ経験を活かし、地域のスポーツ活動の指導者、スタッフとして活躍できる環境を整えます

障がい者が気軽にスポーツを楽しむために 課題把握

- 障がい者の程度に合わせたスポーツが楽しめる環境を整えます
- 障がい者と健常者がスポーツを通して交流できる環境を整えます

競技スポーツ

市内で活動する各競技種目の競技レベルを向上するため、アスリートを育成できる環境を整えます。

競技レベルを向上するために

- アスリートを目指す全ての人々が、専門的な指導を受けられる環境を整えます
- 学校スポーツにおける競技力を高めるため、学校の部活動を活性化します
- 各競技種目において、競技団体の活動を活発化し、指導力を強化して、競技力を向上します

基本方針2 スポーツ産業の振興

スポーツ産業を育成し、スポーツを通して地域経済の活性化に取り組むことにより、まちにスポーツ文化を普及していくとともに、スポーツを支える環境を整えます。

スポーツ産業を育てるために

- 市内でプロスポーツや全国大会等を観戦できる環境を整えます
- 市内を本拠地とするトップチームの活動を支えます
- 健康スポーツの受け皿となり、競技スポーツのリード役となる民間スポーツクラブとの連携を進めます

スポーツを通して地域経済を活性化するために 課題把握

- 観せるスポーツ（魅せるスポーツ）のイベントを誘致し、まちの集客力を高めます
- トップスポーツの情報発信力を活かし、地域の情報を発信します

NEW! ○ 地域にトップスポーツ活動を支え、新たなスポーツイベントの誘致や受入を積極的に行う体制を整えます

スポーツ推進に向けた施策

施設の充実

- ◆ 既存スポーツ施設の有効利用
- ◆ 学校開放の拡充
- ◆ ウォーキングコースの整備
- ◆ 施設のバリアフリー化
- ◆ 時代のニーズに合わせた施設の改修・改善
- ◆ トップスポーツへの対応に向けた施設改善
- ◆ ストリートスポーツを楽しめる場の創出

活動機会の充実

- ◆ スポーツ教室の拡充
- ◆ 健康づくりの運動プログラムの実施
- ◆ ニュースポーツの拡大支援
- ◆ 障がい者のスポーツ活動機会の創出
- ◆ 競技スポーツ大会の開催
- ◆ 学校体育と社会体育の連携
- ◆ トップアスリートとの交流
- ◆ トップスポーツの観戦機会の拡充
- ◆ 魅せるスポーツイベントの開催

人材の育成・活用

- ◆ 運動の指導、普及のための指導者の育成・活用
- ◆ イベントサポートスタッフの育成・活用
- ◆ 競技スポーツの指導者の育成・活用
- ◆ 団体・大学と連携した指導者の育成・活用
- ◆ 選手育成に向けた団体支援
- ◆ 選手育成に向けたインセンティブの提供
- ◆ 民間スポーツクラブ等との連携
- ◆ 地域によるプロチームの育成、支援

情報の提供

- ◆ 活動機会を紹介する情報の提供
- ◆ スポーツの気運を盛り上げる情報発信
- ◆ トップチームを支える情報発信

まちづくりへの展開

- ◆ プロチームとタイアップしたまちづくり
- ◆ スポーツツーリズムの推進

当初計画

拡充

- 固定資産の活用（ネーミングライツ等）
- 健康スポーツ活動拠点やハイキングコースの整備

- 指導方法の拡充（アクティブ・ヘルス・プロモーション導入等）

- 2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

計画の中間改訂のポイント

「みる」「ささえる」スポーツ活動の推進

競技者だけでなく「スポーツに関わるひと」の増加に取り組みアダプテッドスポーツやスポーツ産業の振興を目指します

子どものスポーツ活動支援の拡充

大学等と連携し子どものスポーツ活動における指導者確保や指導内容の拡充に取り組みます

スポーツ産業の現状と展望

計画策定後に活発化しているスポーツ産業の現状を把握し今後の展望を検討します

国際スポーツ大会を契機としたスポーツ参画人口増加

計画策定後に決定した国際スポーツ大会の国内開催とそれを奈良市の日常的なスポーツ活動に繋げます